

## 世と教界を見る目を養う(7)

### =バビロンでの生活と主の約束=

#### ■エレミヤ27章-29章

- ①ユダは主の主権によりバビロン王の配下に置かれた(6-11節)→民族・国・境界は主が制定された(使徒17:26);さらに諸霊による管理(ガラテヤ4:1-3)=分散統治
- ②キリストは諸霊を十字架で打ち破り、すべての支配・主権・勢力・主権の上に置かれた(エペソ1:21)
- ③教会(エクレシア)は主の直接統治権の下にあるが、私たちは同時に社会の構成員であり(1コリント5:10)、国家の主権に服している(ローマ13:1,2)→霊と魂・肉体の分離の必要性
- ④定められた時までの生き方(27:11,12;29:5-7、cf.マタイ10:12-13;1テモテ2:1;1テサロニケ4:11)→安易な平和や希望を語る偽預言者に注意すること
- ⑤主の回復の約束(29:10-14):70年の定め(BC.586-BC.516)→私たちの場合は聖なるエルサレムに対する70週の約束(ダニエル9:24-27)

・カウントの仕方はいくつか説がある:例 69週(=483年)をアルタシャスタ王の命令(BC445年3月14日)から数えると(閏年などを調整)、AD.32年4月6日で、主がロバに乗ってエルサレムに入場した日(Sir. Robert Anderson)→最後の1週(=7年間)が残る(ローマ11:25)

- ⑥真の都への帰還のビジョンに生きる(ヘブル11:10,16;12:22;13:14)

#### ■暗証聖句

エレミヤ29:10-14 主はこう言われる。バビロンに七十年の時が満ちたなら、わたしはあなたたちを顧みる。わたしは恵みの約束を果たし、あなたたちをこの地に連れ戻す。わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。そのとき、あなたたちがわたしを呼び、来てわたしに祈り求めるなら、わたしは聞く。わたしを尋ね求めるならば見だし、心を尽くしてわたしを求めらば、わたしに出会うであろう、と主は言われる。わたしは捕囚の民を帰らせる。わたしはあなたたちをあらゆる国々の間に、またあらゆる地域に追いやったが、そこから呼び集め、かつてそこから捕囚として追い出した元の場所へ連れ戻す、と主は言われる。

1テサロニケ4:11 そして、わたしたちが命じておいたように、落ち着いた生活をし、自分の仕事に励み、自分の手で働くように努めなさい。

ヘブル11:22 しかし、あなたがたは、シオンの山、生ける神の都、天にあるエルサレム、無数の御使いたちの大祝会に近づいているのです。

KFC-MESSAGE 2008.03.16